

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

製品名	2019年3月期 第1四半期連結累計期間			当連結会計年度		
	実績	前年同期比		予想	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
オブジーボ点滴静注	228	30	15.0%	900	△1	△0.1%
グラクティブ錠	71	1	0.7%	260	△14	△5.1%
オレンシア皮下注	43	11	32.9%	165	24	16.8%
フォシーガ錠	36	10	38.7%	130	19	17.4%
オパルモン錠	29	△9	△23.1%	105	△39	△26.9%
イメンド/プロイメンド	27	2	8.4%	105	6	5.5%
リカルボン錠	27	0	0.1%	95	△14	△13.0%
リバスタッチパッチ	23	1	3.9%	90	1	1.3%
カイプロリス点滴静注用	13	2	15.3%	65	10	17.4%
パーサビブ静注透析用	13	7	132.5%	55	21	60.4%
オノンカプセル	11	△2	△14.6%	45	△10	△17.6%
オノアクト点滴静注用	11	△3	△21.3%	40	△16	△28.8%
ステーブラ錠	10	△1	△5.3%	35	△6	△15.3%
オノンドライシロップ	7	△1	△14.3%	25	△8	△25.0%

(注) 1. 仕切価格(出荷価格)ベースで売上を開示しております。

2. 当連結会計年度の予想売上収益については、現在承認されている適応症のみを対象としています。

(2) 売上収益の内訳

(単位：億円)

	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	2019年3月期 第1四半期連結累計期間
	製品商品	485
ロイヤルティ・その他	124	174
合計	609	712

(注) 1. 「ロイヤルティ・その他」の中には、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社からの「オブジーボ点滴静注」に係るロイヤルティ収入が、前第1四半期連結累計期間には89億円、当第1四半期連結累計期間には134億円、Merck社からの「Keytruda®」に係るロイヤルティ収入が、前第1四半期連結累計期間には10億円、当第1四半期連結累計期間には26億円、それぞれ含まれております。

2. 当社グループは、10ページ「会計方針の変更」に記載のとおり、IFRS第15号を当第1四半期連結会計期間から適用しております。なお、経過措置にしたがって、適用開始の累積的影響を当第1四半期連結会計期間の利益剰余金期首残高の修正として認識しているため、前第1四半期連結累計期間については修正再表示しておりません。

(3) 地域別の売上収益に関する情報

(単位：億円)

	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	2019年3月期 第1四半期連結累計期間
日本	484	531
米州	115	165
アジア	11	16
欧州	0	1
合計	609	712

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。
2. 当社グループは、10ページ「会計方針の変更」に記載のとおり、IFRS第15号を当第1四半期連結会計期間から適用しております。なお、経過措置にしたがって、適用開始の累積的影響を当第1四半期連結会計期間の利益剰余金期首残高の修正として認識しているため、前第1四半期連結累計期間については修正再表示しておりません。

(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況

2018年7月31日現在

1. 日本の開発品状況

<申請中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	自社*）/導入
オブジーボ点滴静注	効能追加	悪性胸膜中皮腫	注射	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ヤーボイ点滴静注液 ^{※1}	効能追加	腎細胞がん	注射	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7702 /エンコラフェニブ	新有効成分	悪性黒色腫 /BRAF阻害作用	カプセル	導入 (アレイ社)
ONO-7703 /ビニメチニブ	新有効成分	悪性黒色腫 /MEK阻害作用	錠	導入 (アレイ社)
ONO-5371 /メチロシン	新有効成分	褐色細胞腫 /チロシン水酸化酵素阻害作用	カプセル	導入 (バリアント社)

※1：「オブジーボ」との併用試験

*）：共同研究により創出された化合物を含む

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。